

ベトナムの損害保険市場とその課題

二国間支援を行っているベトナムの損害保険市場の特徴およびその課題をご紹介します。

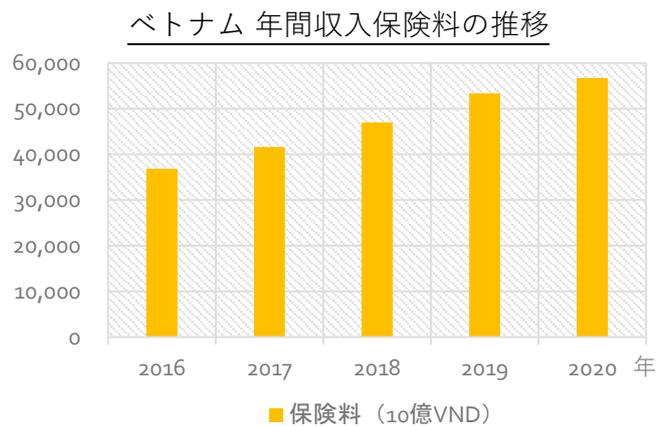
●規模は小さいものの、成長著しいベトナム損害保険市場

ベトナム保険協会(IAV)の公表数値¹によると、2021年1~6月期の損害保険料収入は前年同期比+9.21%増の29兆5,650億VND²(約1,478億円)でした。

直近の年間統計³で見ると、2020年の保険料収入は56兆6,687億VND(約2,833億円)です。

これは、日本の正味収入保険料8兆6,927億円(2020年度⁴)と比較すると3%程度の規模にあたります。

しかしながら、右の年間収入保険料の5年間推移からみられるとおり、順調な成長を維持しています。また、今後も損害保険市場は自動車保険分野を中心に引き続き成長が見込まれています。



●寡占市場の中、安定的な保険制度運営を目指す上での課題

ベトナムの損害保険市場の特徴として、「寡占市場」である点が挙げられます。ベトナムには32社の損害保険会社(2020年時点)がある中で、地場ローカル系5社で5割以上のシェアを占め、残りの市場を27社(うち日系3社含む)で奪い合う形となっています。収入保険料規模が小さいものの、成長が続く中で市場全体として保険料の過度な割引等の過当競争が誘発されやすい状況といえます。

日本のように安定的な保険制度を運営するにあたっては、正確な保険統計に基づく適正な保険料設定や監督機関の管理機能が不可欠です。日本もかつては過当競争を経験しており、現行の制度およびそこに至るまでの過去の経緯は、現在のベトナムにとって参考となる部分が多くあります。自発的かつ長期的な発展を促すため、金融庁等と課題を共有しつつ、安定的な保険制度構築の重要性等を知ってもらうためのセミナー開催や日本の現行制度を基にした支援を引き続き実施していきます。

¹ IAV ウェブサイト (<https://www.iav.vn>)

² ベトナムの共通通貨であるVND(ベトナムドン)は、日本銀行ウェブサイト (<https://www.boj.or.jp>) の令和3年12月分報告省令レートをもとに、100VND=0.50円として換算

³ ベトナム財務省ウェブサイト (<https://mof.gov.vn>)

⁴ 「ファクトブック2021 日本の損害保険」(一般社団法人 日本損害保険協会)